

## 懇話会としての認識まとめ（平成29年12月第5回懇話会）

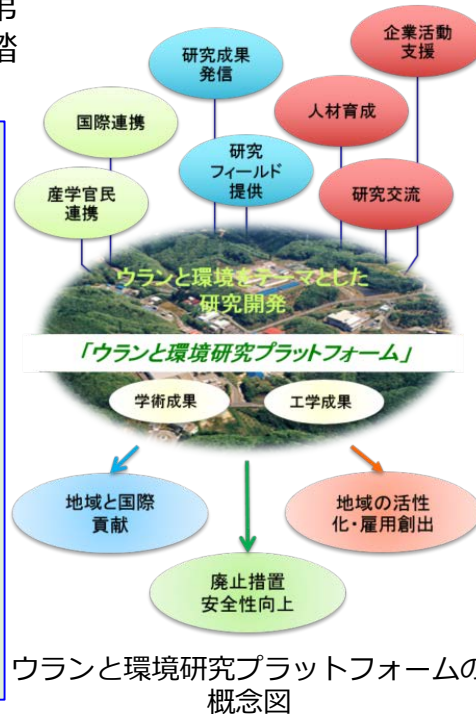
第5回懇話会において、委員長の提案により、第1回から第4回までの間に出された意見・提言を踏まえた、懇話会としての認識がまとめられました。

### 懇話会としての認識まとめ

立地地域等と連携したうえで、施設の安全対策を講じてリスクの低減や環境保全へ取り組むといった、人形峠センターに、将来にわたって与えられた役割を着実かつ安全に果たしてもらうためには、「ウランと環境研究プラットフォーム」構想に示された研究開発を着実に進めることは適切である。

なお、「ウランと環境研究プラットフォーム」構想では、人形峠センター内で保管されている放射性廃棄物のみを対象\*とし、周辺環境への影響がないよう十分な対策を行うことを要請する。

\*人形峠センター内で保管されている放射性廃棄物のみを対象：外部から放射性廃棄物は持ち込まず、既に人形峠センター内にあるものだけを研究対象とすることです。



# 人形峠環境技術センターからのお知らせ（vol.4） 【ウランと環境研究懇話会 編】

### 就任ごあいさつ

平成31年4月1日付けで人形峠センターの所長を拝命した木原義之でございます。

当センターは、これまで半世紀を超える長きにわたり、地域の皆様に見守られながら業務を進めてきました。既に主要施設の運転を終え、次のステップである施設の廃止措置に入っていると看做しております。

懇話会では、様々な立場の委員の皆様から今後の事業計画案について多様なご意見・ご提言をいただき、その多くを反映するとともに、議事概要も公表しました。これは従来の人形峠センターからの一方的な情報提供とは大きく異なるもので、大きな意義があったと考えています。

懇話会で取り纏めていただいた認識を踏まえ、安全を最優先に、地域の皆様からの信頼とご理解を得ながら、国立研究開発法人として与えられた役割を果たし、成果をあげるとともに、業務の透明性を図ってまいります。施設見学の機会も設けております。ぜひ人形峠にお越しいただき、施設の状況をご覧いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



懇話会の詳細（資料や議事概要）は、人形峠環境技術センターのホームページをご覧ください <https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/>

いま、人形峠環境技術センターでどのような業務を行っているのか、よく分からないという声を聞きます。このため鏡野町さんのご協力をいただき、不定期ではありますが、「お知らせ」として人形峠センターの状況をお伝えさせていただきます。

第4回目として、平成29年度から開催している「ウランと環境研究懇話会」で出されたご意見をご紹介します。

お問い合わせ先：人形峠環境技術センター総務課  
TEL.0868-44-2211（代表）



国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構  
核燃料・バックエンド研究開発部門  
人形峠環境技術センター

## ウランと環境研究懇話会

平成28年12月に公表した「ウランと環境研究プラットフォーム」構想に関して、平成29～30年度にかけて地域代表の方々、行政、有識者の方々を委員とする「ウランと環境研究懇話会」を8回にわたり開催しました。この懇話会では、人形峠センターの示した事業計画案について、ご意見やご提言をいただき計画に反映するなど、人形峠センターとしての新たな取り組みであるとの評価もいただいています。

懇話会では、人形峠センターの業務の進め方について厳しいご意見も含めて多くのご意見をいただきました。今回はいただいたご意見等の一部と人形峠センターの対応についてご紹介いたします。



第1回懇話会の様子

### 懇話会としての認識のまとめで示された意見

#### ①安全に関する意見

- 人形峠センターが解決すべき課題は、鉱山施設の閉山措置、減損ウランの安定的保管管理等の対策及び放射性廃棄物の処理・処分技術の開発である
- これらの課題解決へ取り組むことは、リスク低減・地域住民の方等の安全安心につながるものである
- これらの課題解決への取り組みは、安全が担保されることを大前提に、人形峠センターにおいて最後まで責任を持って実施することが必要である

#### ②事業の信頼性・透明性に関する意見

- 地域住民の方の安心感の醸成を図るために、計画や成果について丁寧な説明を行うこと
- 課題解決の取り組みは地域住民の方等の理解を得ながら着実に進めることが望ましい
- 徹底した情報公開への積極的な取り組みが重要
- 地域住民等との対話を通じて、人形峠センターが地域住民に信頼される組織であり続けることが必要
- 地域住民の立場に立った分かりやすい説明や資料作りを心がけること

#### ③事業の推進に関する意見

- より具体的な研究計画を作成し、その計画や得られた成果については、有識者の評価を受けるとともに積極的に公表すること
- この取り組みが立地地域の活性化及び鏡野町の発展につながることを期待する

### 人形峠センターの対応

安全対策・廃止措置を進め早期のリスク低減を目指します



減損ウランの安定的保管管理等の対策 (約2,700tonの減損ウラン等 (六フッ化ウラン))

人形峠センターの技術的課題

#### ①安全に関して

- 人形峠センターに対する地域の皆さんの安全・安心の目線を全従業員へ周知し、意識改革を進めています
- リスク低減を目的として、高経年化対策、自然災害対策の計画立案及びその実施を進めています

#### ②信頼・透明性に関して

- 地域の皆さんに信頼される組織となるように努めます
- 事業説明、出前説明会等を開催していきます

#### ③事業の推進に関して

- 技術的課題の解決に必要な研究開発と共に、人形峠センターや周辺環境の特徴を活かした研究を、ウランと環境研究プラットフォームにおける取り組みとして実施します
- 地域への貢献、地域の活性化について取り組みます